

A A B がん検診促進キャンペーン
全国巡回がんセミナー
検診受けて早期発見！

2010年5月19日（水）秋田市文化会館 小ホール

主催：（財）日本対がん協会（財）秋田県総合保健事業団 秋田朝日放送

協賛：アフラック



「全国巡回がんセミナー」は、2007年から日本対がん協会が「がんに関する知識や情報の普及と検診受診率向上」を目指して全国各地で開催する講演会です。



当日は県内各地から
約 350 名が来場しま
した。



講演 ① 「怖がらずにがん検診を受ける勇気を・・・」



国立がんセンター名誉総長で日本対がん協会の垣添忠生会長は、毎年約 30 万人ががんで命を落としている現状を踏まえ、「がんは誰にでも起こりうる病気である」と位置づけ、がん検診の重要性を訴えました。



垣添忠生氏

また、早期発見だったため、術後、2週間後には海外出張もこなしたという自身のがん体験も披露し、「怖がらずにがん検診を受ける勇気を」と強調しました。

講演 ② 「働き盛りの世代こそ、がんに関心を・・・」



秋田県総合保健センター長で、秋田大学の加藤哲郎名誉教授は医師として自らが取り組んできた「秋田県のがん研究と対策」について、講演しました。

その中で、加藤教授は、県内では 40～50 代の男性、50 代の女性にがんが増えていることに触れ、「働き盛りの人こそ、がんに関心を持って欲しい」と訴えました。

加藤哲郎氏

講演 ③ 「仲間と励ましあい、明るく生きられるように」

乳がん体験者などで構成される「あけぼの秋田」の佐藤清子代表は、母の日に合わせて毎年行っている、乳がんの検診を呼びかける街頭活動について報告しました。

佐藤代表は、「同じ体験をした仲間と励ましあい、明るく生きられるようになった」とこれまでの振り返り、「今後も地道な活動を続けて、がん検診の向上に努めていきたい」と話しました。



佐藤清子氏



時折、ユーモアを交えたお話に会場からは笑いが起こるなど、終始和やかな雰囲気です。セミナーは進行しました。



会場では、協賛企業による募金活動も行われました。寄せられた浄財は、がん検診促進啓発活動に役立てられます。

セミナーに参加した人たちは……

「秋田県のがんの実態が深刻だということが良く分かった」

「がん検診の重要性を改めて実感した」

「もっと、がんに関心を持たなければならないと思った」

などの声が多く寄せられました。